

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月19日更新

事務事業名	合生文化会館維持管理事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名 飯開輝久雄
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名 西口雅利
	施策の柱	44	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	合生文化会館	(内線) 096-242-3218
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 10	事業連番 10891	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	施設の清掃、機械警備・床のワックス処理・カーペット交換・消防用設備の保守点検等の委託。施設の修繕(小会議室クロス替え、大会議室カーテン・ドア調整、階段手摺付け替え・照明付け替え、和室畳替え・障子張り替え)・光熱水・消耗品の管理。会議用機の買替。
【業務の流れ】	各種委託業者選定・契約及び購入・支払い事務等
【主な予算費目】	消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、役務費、委託料、賃借料、備品購入費。
【意見や要望】	清掃・修理・保全など施設の維持管理等が行届いている。2階のトイレ設置、エレベーター設置。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 施設の良好な維持管理に努める。経年に伴う網戸の修繕。
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO) 施設清掃・機械警備・床のワックス処理・カーペット交換・消防用設備の保守点検等の委託。施設の修繕小会議室クロス替え、大会議室カーテン・ドア調整、階段手摺付け替え・照明付け替え、和室畳替え・障子張り替え)・光熱水・消耗品の管理、会議用機買替。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア: 利用者数 → イ:	(単位) 人 予算の主な増減の理由 備品購入費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 会館施設全般	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 市民 → イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 良好な施設機能を維持する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 施設維持管理に起因する支障等がなく利用している人の割合 % → イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
① 活動指標	ア 人		10,267	11,379	10,000	10,051	10,000	10,000	10,000	10,000	
② 対象指標	ア 人		59,200	60,100	60,900	60,900	61,500	62,000	62,500	62,500	
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円			620	620	1,069			
		地方債	千円								
		その他	千円	23	50	31	51	31	31	31	
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	2,278	1,155	1,822	1,756	886	1,300	1,300	1,300
		(A) 事業費計	千円	2,301	1,205	2,473	2,427	1,986	1,331	1,331	1,331
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	1	1	1
延べ業務時間	時間	400	700	390	800	390	390	390	390		
(B) 人件費計	千円	1,485	0	1,553	3,164	1,553	1,553	1,553	1,553		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,786	1,205	4,026	5,591	3,539	2,884	2,884	2,884		

事務事業名	合生文化会館維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	--------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 トラブルが発生しても早急な対応を行う
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 施設に関する苦情等も即時対応しており、現状維持に努める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 施設設置時の地域住民の問題解決に向けた思い、地域性もあり、交通の利便性からも困難である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 これまで経費削減に努めており、余地はないものと判断する
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 人権問題啓発を推進するための地域の中の施設として、委託等による運営は困難である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 人権問題解決のための拠点施設の維持管理であり、適正な役割分担である

3 評価結果の総括 (CHECK)

利用者の意見の可能な範囲で即時対応しており、良好な施設維持管理ができています。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>利便性及び福祉機能向上のため、エレベーター・2階トイレ設置など課題がある。経年による補修・修繕の増加も見込まれ、順位づけにより効率的な運営を図る。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						